

# KOMA! 25

Volume 25 巨摩高だより July 2009 7月号

もっとなんか知ってほしいわたくしたち巨摩高校のコト。

KOMA High School School Profile Paper, KOMA-KOU dayori vol.25 July, 2009

## 山梨大学工学部との連携講座

### 「スーパーサイエンス・理工学の世界」がスタート!!

山梨大学工学部との連携講座「スーパーサイエンス・理工学の世界」が、今年度新たにスタートしました。同大学の先生方を講師として迎え、クリーンエネルギーやワイン科学など、毎回違ったテーマで全9回が予定されており、これまでに6回実施しました。映像や実験を交えた講義を通して、山梨大学ならではの最先端の研究に触れることができます。受講者は、理数コースの1年生をはじめとする1年生が中心で、単位認定もされます。



受講生徒の感想  
一つ一つの講座を大切にしながら。

理数コース1年 依田暁登

ほぼ毎週のように開かれている高大連携講座では、山梨大学の教授らにお越し頂き、高校1年生にも分かりやすい内容とレベルで講義をして頂いている。講師は工学部の先生方ばかりなので、新幹線や飛行機などの工学に関わる内容は当然であるが、それ以外にも、水をめぐる問題やおいしさについてなど、自分が考えていた工学部のイメージからは想像しにくい内容の講義もあった。

これまで受けたすべての講座について言えることは、とにかく面白いということだ。それは、さまざまな視点から物事をみることででき、たくさんの方のことを学ぶからだと思う。これからの二つの講座を大切にしながら、受講していきたい。



## が・ん・ば・る 先生13 センセイ

感謝の気持ちを忘れずに。

新津康介先生  
2年6組担任・教務係・ソフトテニス部顧問



今回のが・ん・ば・る先生は、数学の新津康介先生です。先生は、巨摩高校5年目で、赴任以来ずっと理数コースの担任をしています。

ボール部、登山部等の顧問をやりましたが、ハンドボール部ではダメな顧問だと反省しています。現在ソフトテニス部の顧問をしています。前任校でテニス部の顧問でしたが、学生時代に経験は多く、教員になってから生徒と共に練習する中で経験を積みました。最初はわからないことが多く、苦労しましたが、教科指導以上に、勉強しました。放課後や休日の時間を部活動の指導にあてるのは大変ですが、私以上に熱心に指導している先生方を見て、自分もできる範囲でがんばらなければと思っています。

数学の授業では、1年次から3年次までいつどのタイミングで何をやるのが効果的かを考え、3年間を見据えた指導をしています。進路指導も、3年間担任を持つつもりで3力年計画でやっています。「目標を設定する力、目標に向かい計画を立てる力、そして一番大事なのが、やりきる力」、これらの「生きる力」を勉強を通して身につけてほしいと考えています。志望校に合格することも大事かもしれませんが、受験という機会を通して生徒が一回り成長することが、教師にとっては特にうれしいことではないでしょうか。また、3年間同じクラスだからこその経験できることもあると思います。卒業式を迎えた時、多くの生徒が「このクラスで良かった」と言います。それは、3年間同じ仲間と苦楽を共にしたからこそのことだと思います。

巨摩高生に望むことは、高校時代は、楽しいことばかりではなく、苦しいことや時には挫折も経験しながら成長していく時期だと思えます。勉強や部活動を通してそうした経験を重ね、自分を磨いていってほしいです。そしてそれができるのは、周りに支えてくれる人がいるからこそだということを中心に、周囲に対する感謝の気持ちを忘れずに毎日を通してほしいと思います。

一部活動の指導に関してはどうですか？  
新採用で赴任した学校では、ハンド

どうもありがとうございます。

「巨摩高だより Volume.25」には、こんな内容を掲載しました。  
P02◎「可能性に挑戦しよう、一人ひとりが輝こう」校長 興水秀志/[巨摩高にゆーず]インターハイ・全国大会出場 P03◎[特集01]第55回 白嶺祭「奏 一かなで」 P04◎[特集02]山梨大学工学部との連携講座「スーパーサイエンス・理工学の世界」/[連載 がんばるセンセイ]新津康介先生(2年6組担任・教務係・ソフトテニス部顧問)



特集  
第55回  
白嶺祭

# 奏

KANADE



## 編集後記 Editor's Room

● 巨摩高だより25号をお届けします。今この原稿を書いている時点で、沖繩と奄美地方の梅雨明けが発表されていますが、県内はまだじめじめとした梅雨空が続いています。▼そんなうつつうしい梅雨空を吹き飛ばすように、さまざまな場面で巨摩高生のがんばりや活躍がありました。今回は学園祭の様子を中心に組んでみました。▼今年のテーマ「奏」には、「1つ1つの音を集めて音楽を奏できるように、一人ひとりの個性を一つにまとめて学園祭を作り上げていきたい」という思いが込められています。クラス全員が、そして全校生徒が一つになって作り上げた学園祭。生徒一人ひとりが感じ、味わった充実感や達成感、学園祭全体の盛り上がりを感じ取っていただけたらと思います。▼今号が皆さんの手元に届く頃には、梅雨も明け、真夏の青空が広がっているでしょうか。

## 巨摩高だより KOMA! 25

発行◎山梨県立巨摩高等学校  
〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2  
TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104

発行日◎平成21年7月17日  
編集◎山梨県立巨摩高等学校 図書教養係

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校  検索

URL: <http://www.ko.kai.ed.jp/>  
Mail: [info@ko.kai.ed.jp](mailto:info@ko.kai.ed.jp)